

プレスリリース

令和8年7月10日

報道関係者各位

独立行政法人 国立科学博物館
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

国立科学博物館×総合地球環境学研究所 共同企画展 「どうする、ニンゲン – 研究の現場から地球の未来を問う」

報道内覧会のご案内

国立科学博物館（館長：真鍋 真）は、2026(令和8)年7月31日(金)から9月23日(水・祝)までの期間、下記のとおり、国立科学博物館×総合地球環境学研究所 共同企画展「どうする、ニンゲン – 研究の現場から地球の未来を問う」を開催いたします。

本展の開幕に先立ち別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、ご案内申し上げます。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

報道内覧会概要

【日時】2026（令和8）年7月30日(木)（受付開始17時00分～）

17時30分～18時00分 監修者紹介・展示解説

18時00分～19時00分 自由内覧

【会場】国立科学博物館 日本館1階 企画展示室および中央ホール

企画展概要

【企画展名称】国立科学博物館×総合地球環境学研究所 共同企画展
「どうする、ニンゲン – 研究の現場から地球の未来を問う」

【開催場所】国立科学博物館（東京・上野公園）日本館1階 企画展示室および中央ホール

【開催期間】2026（令和8）年7月31日(金)～9月23日(水・祝)

【開館時間】9時～17時 ※8月9日(日)～8月15日(土)は18時まで ※入館は閉館時刻の30分前まで

【休館日】9月7日(月)、9月14日(月)

【入館料】一般・大学生：630円（団体510円）、高校生以下および65歳以上：無料

※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます ※団体は20名以上

※入館方法の詳細については当館ホームページをご覧ください <https://www.kahaku.go.jp/>

【主催】国立科学博物館、総合地球環境学研究所

【お問合せ】国立科学博物館 展示部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9887 FAX：03-5814-9898 E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

令和 8 年 7 月 10 日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

国立科学博物館×総合地球環境学研究所 共同企画展
「どうする、ニンゲン ―研究の現場から地球の未来を問う」
報道内覧会のお知らせ

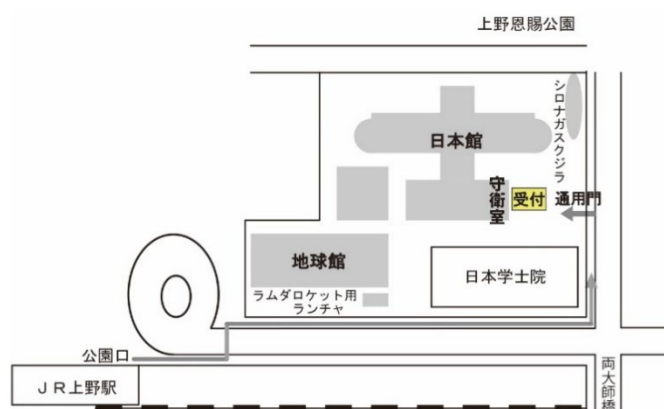
2026（令和 8）年 7 月 30 日（木）17 時 30 分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、国立科学博物館×総合地球環境学研究所 共同企画展「どうする、ニンゲン―研究の現場から地球の未来を問う」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただけますと幸いです。

記

- 【日 時】 2026(令和 8)年 7 月 30 日(木)
17 時 30 分～19 時 00 分（受付開始 17 時 00 分～）
- 【会 場】 国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）
日本館 1 階 企画展示室および中央ホール
- 【受付場所】 日本館 1 階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください
- 【アクセス】 J R 上野駅公園口から徒歩 5 分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅 7 番出口から徒歩 10 分
京成電鉄京成上野駅から徒歩 10 分
※駐車場及び駐輪場の用意はございません



【当日のスケジュール】

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 17 時 00 分～ | 受付開始（受付場所：日本館 1 階守衛室前） |
| 17 時 30 分～18 時 00 分 | 監修者紹介・展示解説 |
| 18 時 00 分～19 時 00 分 | 自由内覧 |

※17 時 30 分から約 30 分間、本展の監修研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします

【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は 7月29日(水)17時00分までに、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp あてメールにてお申込みください。

- ・ 件名：
企画展「どうする、ニンゲン ―研究の現場から地球の未来を問う」報道内覧会申込
 - ・ お名前
 - ・ ご所属
 - ・ 緊急連絡先(携帯電話番号)
 - ・ メールアドレス
- ※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、
上記の必要事項をご記入願います

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします（概ね3日以内にお返事します）。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

【国立科学博物館監修者】

国立科学博物館 前館長 篠田 謙一

専門は分子人類学。古人骨に残るDNAを分析して、日本人の起源や世界各地の集団の成立について研究している。

【総合地球環境学研究所監修者】

総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一

専門は人類進化論、霊長類学。人間の社会や文化がどの様に作られたかを進化史をさかのぼって探求し、未来の人間の社会や文化のあるべき姿を模索している。

総合地球環境学研究所 教授 近藤 康久

専門は考古地理学。中東のオマーンで20年近くにわたり遺跡調査を続けている。また、人文学・社会科学・自然科学の総合研究や、学術と社会の協創の方法論にも関心をもって探究している。

総合地球環境学研究所 特任教授 谷口 真人

専門は地下水学・水文学。複雑に絡み合う地球環境問題を解決するために、人と社会、自然との連環を明らかにし、ステークホルダーとの共創を通じて未来社会のあり方を追求する研究プログラムを推進している。

総合地球環境学研究所 副所長 陀安 一郎

専門は同位体生態学。同位体情報をツールとして、生態系の中に生物を位置付け、周りの環境との関係性を解き明かすことで、新たな見方を取り入れることができる同位体環境学の研究をしている。

総合地球環境学研究所 特任教授 松田 素二

専門は社会人間学、アフリカ地域研究。地球環境問題の解決のために、先進的な科学技術に頼るだけでなく、科学と文化の接合を通して新しい価値観と生き方を創造する研究プログラムを推進している。

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



①国立科学博物館×総合地球環境学研究所 共同企画展
「どうする、ニンゲン－研究の現場から地球の未来を問う」
ポスタービジュアル



②インド北西部のパンジャーブ州での稲わら焼きの様子
(1章「気づく」展示内映像)



③インドネシア・ゴロンタロ州の伝統的な手刺繍
「カラウオ」を施した服 (3章「問いつづける」展示品)

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉 国立科学博物館 展示部 企画展示課 企画展担当
電話 03-5814-9887 FAX 03-5814-9898
E-mail : kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

この地球で、
どのように生きるのか



国立科学博物館 × 総合地球環境学研究所
共同企画展



どうする、

ニッポン

研究の現場から
地球の未来を問う

What Shall We Humans Do?
Rethinking earth's future
from research on the ground

07.31  → 09.23 

国立科学博物館 (東京・上野公園) 日本館1階企画展示室および中央ホール
NATIONAL MUSEUM OF NATURE AND SCIENCE (UENO PARK, TOKYO)

開館時間／ 9時～17時 ※8/9(日)～8/15(土)は18時まで ※入館は閉館時刻の30分前まで

休館日／ 9月7日(月)・9月14日(月)

入館料／ 一般・大学生630円(団体510円)(税込)

※常設展示入館料のみでございました。※団体は20名以上。

※高校生以下および65歳以上は無料。

主催／ 国立科学博物館、総合地球環境学研究所

お問い合わせ／ TEL: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

FAX: 03-5814-9898

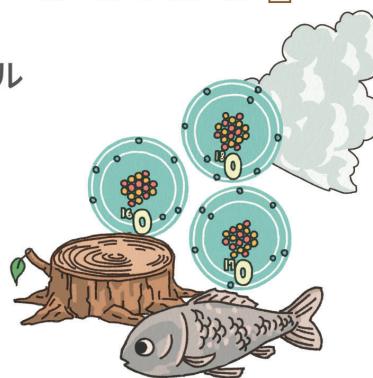
<https://www.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所



どうする、 ニンゲン

研究の現場から地球の未来を問う

—わたしたちニンゲンは、この地球でどのように生きるのか

地球環境をめぐる問題は、自然だけでなく、人間の社会や文化とも深く関わっています。

総合地球環境学研究所（地球研）では、地球環境問題を人と自然の関係はどうあるべきか、という「人の生き方」の問題ととらえ、解決の糸口を探ってきました。本展では、その研究事例や活動を紹介します。人と地球の関係についてあらためて考えてみませんか。

1 章 気づく

人と自然の関わりを ふりかえる

暮らしの中で使うもの、食べるもの、住むところなど、わたしたちは日々のあらゆる場面で自然とつながっています。そんな「人と自然のつながり」のあいだで生じている地球環境問題の根源をみてみましょう。



食材はどこからきている？



大気汚染はだれの問題？

2 章 とらえなおす

つながりからみえる 解決へのてがかり

わたしたちと自然の関わりは複雑で、環境問題の解決は困難にも思えます。研究者たちは、問題解決に向け、分野をこえて「人と自然のつながり」をとらえなおしてきました。暮らしと海、社会と気候変動、地域と生きもの、それらのつながりをてがかりに、自然との向き合い方を探りましょう。



暮らしと海の変遷をたどる
プロジェクションマッピング！？



昔の人々も対峙した気候変動！？

3 章 問いつづける

わたしたちは どう生きるのか？

一人ひとりができることは小さなことかもしれませんが、それでも、世界各地で環境問題の現場に生きるわたしたちニンゲンは、工夫をこらして解決のための新しい価値観と生き方を創りだしています。地球環境問題は、わたしたちの未来に深く関わりつなっています。

今、わたしたち自身がどう生きるかを考えてみませんか。



どのようにしたら？



トイレと環境問題？

中央ホール

問いの森

ここでは、研究者とお話ししたり、自分の考えを書いたり、思いを巡らせたりしながら過ごすことができます。この試みは、社会のさまざまな人々と研究者が一緒になって問題に取り組む「超学際研究」の一端です。地球に暮らすニンゲンとして、ともに考えていきませんか。



関連 イベント

研究者トーク・ワークショップ 「あつまれ、ニンゲン」

〔事前申込・抽選制〕

もっと深く展示を楽しみたい方へ。

各章の研究者が、展示の背景にある問いや研究のストーリーを語るトーク、ワークショップなどをを行います。

対話の縁側「かたろう、ニンゲン」

場所：日本館1階 中央ホール

期間中、さまざまな分野の地球研研究者が滞在します。展示のこと。生活のこと。環境のこと。“縁側でひと休み”がてら、研究者と気軽に話らしてみませんか？

詳細・お申込



アクセス

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
 - 東京メトロ 銀座線・日比谷線
「上野駅」7番出口から徒歩10分
 - 京成電鉄
「京成上野駅」正面口から徒歩10分
- ※当館には駐車場および駐輪場はございません。

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL : 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
FAX : 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

